ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまからはじめよう」からのバトンを渡す、スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

パソコン甲子園２０２２（20周年記念大会）本選開催のお知らせ

（に・ぜろ・に・に）

会津大学

パソコン甲子園とは、高校生と高等専門学校生（３年生まで）がプログラミング能力をはじめ、情報処理技術におけるアイデアや表現力などを競い合い、その経験を通して知識と技術を高めるICT 分野の全国大会です。

2003年に第一回を開催して以降、今年で20周年となる大会のこれまでのあゆみと、11月５日㈯、６日㈰に会津大学内で開催される本選の内容についてご案内いたします。

ホームページで詳しい情報を公開しています。 パソコン甲子園 検索

【パソコン甲子園とは】

パソコン甲子園とは、全国の高校生、高等専門学校生などが、情報処理技術における優れたアイデアと表現力、プログラミング能力などを競い合うことにより、生徒自身のスキルアップを図るとともに、情報化社会を支える人材の裾野を広げることを目的として、2003年より会津大学で開催されているICT 分野の全国大会です。

「プログラミング部門」、「モバイル部門」、「いちまいの絵 CG 部門」の３つの部門が開催されます。

①【プログラミング部門】

プログラミング部門では、プログラミングの知識と技術を競います。制限時間内に出題された問

（2019大会の様子）

題に対する解答プログラムを作成し、正解した問題ごとの得点の合計を競います。

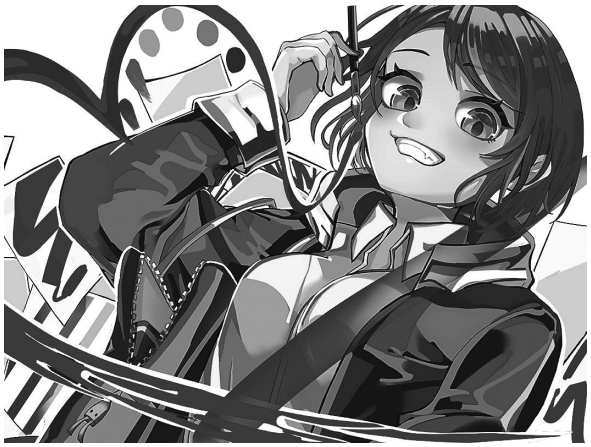
②【モバイル部門】

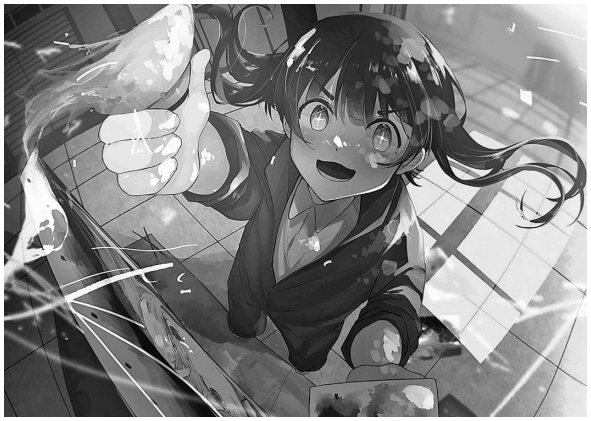
モバイル部門競技では、テーマに基づきAndroid搭載のスマートフォンに対応した“夢のある”アプリを企画・開発し、その総合的なプロデュース力を競い合います。

（2019大会の様子）

③【いちまいの絵 CG 部門】

テーマに基づき制作された１枚のCG（コンピュータグラフィック）の作品を、「独創性」「インパクト」「技術力」「テーマを生かし切れているか」の４項目に重点を置き、表現力や芸術性などを総合的に審査し、入選作品を決定します。





（2021大会の優秀賞受賞作品）

【パソコン甲子園20年のあゆみ】

2003年に第一回が開催されたパソコン甲子園は、今年で20周年を迎えました。

初年度は数百人程度の参加者であった大会も、今では2,000人近い参加者を集めるまでになり、数多くのICT人材を輩出してきました。

本年は大会の20周年を記念し、公式ウェブサイ

ト上に「20周年記念ページ」を設けましたので、ぜひご覧ください。

パソコン甲子園　20周年　検索

【新キャラクター愛称公募】

20周年を記念し作成した新キャラクターの愛称を、広く全国から募集しました。愛称は本選にて発表し、その後ホームページでも発表しますので、ぜひご覧ください。

（新キャラクターの画像）

【パソコン甲子園（に・ぜろ・に・に）２０２２本選について】

本年11月５日㈯、６日㈰に、パソコン甲子園2022の本選を会津大学にて開催します。昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで開催したため、３年ぶりの現地開催となります。

【本選概要・参加校等について】

本選の概要や参加校については、下記のパソコン甲子園公式ウェブサイトでご案内しております。

福島県からは、モバイル部門に平工業高校の「孤独な放送室」チームが参加します！プログラミング部門の本選参加校は９月26日㈪に決定し、本誌発行日には公式ウェブサイトで公開されていますのでお楽しみに！

パソコン甲子園　検索

【一般来場者の制限および配信について】

今年度は、新型コロナウイルス感染対策により、一般の方についてはご来場いただくことができません。

パソコン甲子園の公式 YouTube チャンネルと Twitter にて、本選の模様を配信いたしますので、ぜひオンラインで生徒たちの熱い戦いをご覧ください。

- YouTube

  パソコン甲子園　YouTube　検索

- Twitter

  パソコン甲子園　検索

［問い合わせ先］

パソコン甲子園事務局（会津大学内）

電話：0242（37）2532